

評価結果概要表

作成日 平成 21 年 9 月 1 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0570807644号
法人名	株式会社 大曲仙北介護支援事業所
事業所名	グループホームのぞみ
所在地	大仙市大曲西根字鳥居57-1 (電話) 0187-86-4152

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成21年8月6日

【情報提供票より】

(平成21年7月1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 11 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	19 人 (常勤 17 人 非常勤 2 人 常勤換算 17.0 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造一部鉄骨 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,010 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	□有()円 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	□有()円 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	□有 / □無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,050 円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低 68 歳	最高 88 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	仙北組合総合病院・吉方内科医院・市立大曲病院・ホワイト歯科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

開設当初から「一人ひとりが笑顔で健やかに」を理念に掲げ、基本方針や「5つのところ(素直・反省・奉仕・謙虚・感謝)」により日々の姿勢と心がけを訓示している。
職員体制を充実させ、職員の勤労意欲の維持・向上にも力を入れており、それが利用者への献身的なケアにつながっている。
事業所内には県の許可を得て理美容室を設置し、地域美容師の協力で理美容へのニーズに添っているほか、認知症対応型のデイサービスとショートステイの指定を受け、利用者及び家族からのニーズに添える準備を整えている。
また、地域密着型の事業所として地域との交流機会を積極的に作り、家族会も併せて開催するなど利用者及び家族、職員と地域との関わりを大切にしているほか、養護学校の生徒を実習生として受け入れるなど事業所の役割・機能を有効に生かしている。
さらには、防災訓練への住民参加や利用者の声かけ、見守りのほか、コンビニによる緊急災害時の物資援助などの協力体制を構築し、利用者が地域で安全・安心に暮らし続けるための環境を整えている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域交流行事と併せて家族会を開催し、家族会機能の充実に努めているほか、家族に毎月たよりを送付して利用者一人ひとりの生活状況を報告している。 また、モニタリングの様式を見直したことで、介護計画を見直すタイミングを的確に把握できるようになり、法人所属の栄養士や協力医療機関の薬剤師からの指導を実践に反映させている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で話し合い、意見交換しながら自己評価しており、評価の意義を理解して率先して取り組むことで、常に現状を分析しながら課題や改善方法を考えている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	前回から課題としていたスプリンクラーの設置について、委員の意見を基に何度も行政と話し合い、助成金を得ることで設置につなげている。 また、管理者が認知症サポーター養成の指導者として登録しているため、地域住民向けの養成講座の開催についても前向きに話し合っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を設置し、面会時や電話、家族会開催時にも意向を確認しているが、これまでに意見等はないため、今後は家族会での意見集約や独自の意向調査など、潜在的な思いがないか確認するための手法の工夫が望まれる。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、夕涼みや収穫祭など地域との交流機会を積極的に設け、地域の運動会や敬老会、子どもたちとの相互交流などで地域と活発に交流している。 また、災害時にはコンビニが非常食を届けてくれ、近所に住む看護師の応援体制など、緊急災害時における地域の協力体制を確保している。

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念	利用者が地域の中で自分らしく暮らしていけるよう「一人ひとりが笑顔で健やかに」という理念を掲げている。			開設時から「一人ひとりが笑顔で健やかに」という理念を掲げ、それを実現するために基本方針で職員の姿勢を示し、さらに日々の心がけとして「5つのこころ」（素直・反省・奉仕・謙虚・感謝）を掲げている。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中で自分らしく暮らしていけるよう「一人ひとりが笑顔で健やかに」という理念を掲げている。					
2	2	○理念の共有と日々の取り組み	玄関、廊下、ホール等に掲示し常に意識できるようにしている。			理念を手書きの大きな字で表し、事務所や廊下、食堂などに掲示し、さらに基本方針と「5つのこころ」も廊下やトイレに掲示して職員が確認している。 また、ミーティングや申し送り時にも確認しながら理念の共有と実践に努めている。		
		運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、廊下、ホール等に掲示し常に意識できるようにしている。					
3	3	○家族や地域への理念の浸透	家族には契約時に詳しく説明し、地域の方にも運営推進会議や地域交流会を通して理解を深めている。			/		
		事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には契約時に詳しく説明し、地域の方にも運営推進会議や地域交流会を通して理解を深めている。					
2. 地域との支えあい								
4	4	○隣近所とのつきあい	交流会や消防訓練等を通して馴染みの関係ができてきているため、散歩等でホーム周辺のご近所を歩いていると、お互い声を掛け合ったり気軽に立ち寄ってもらえる環境ができています。			/		
		管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	交流会や消防訓練等を通して馴染みの関係ができてきているため、散歩等でホーム周辺のご近所を歩いていると、お互い声を掛け合ったり気軽に立ち寄ってもらえる環境ができています。					
3	5	○地域とのつきあい	交流会や消防訓練等の際には地元の方々へ声を掛け参加して頂いている。また、地域の行事等への誘いの声をかけて頂き参加できる入居者は参加している。			町内会に加入し、夕涼み会や収穫祭を開催して定期的に地域との交流行事を開催したり、草取りなどを通じた日常的な交流にも取り組んでいる。 また、地域の運動会や敬老会などのほか、幼稚園や小中学校との相互交流、養護学校生徒の実習受け入れなど、事業所の機能を生かしながら活発に交流している。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	交流会や消防訓練等の際には地元の方々へ声を掛け参加して頂いている。また、地域の行事等への誘いの声をかけて頂き参加できる入居者は参加している。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6		○事業所の力を活かした地域貢献	地域の高齢者の方達と行事等を通じて馴染みの関係が作られているので、今後、共用型デイサービスを活用して頂き暮らしに役立つことができるよう取り組んでいきたい。認知症サポーター養成講座を開き地域での高齢者をサポートしていきたい。	○	運営推進会議でも話し合いをして、今年の実績に記入している。			
		利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の方達と行事等を通じて馴染みの関係が作られているので、今後、共用型デイサービスを活用して頂き暮らしに役立つことができるよう取り組んでいきたい。認知症サポーター養成講座を開き地域での高齢者をサポートしていきたい。	○	運営推進会議でも話し合いをして、今年の実績に記入している。			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用	評価を通して、サービスの見直しや振り返りに活用し改善していけるよう積極的に取り組んでいる。			評価の意義を理解し、職員間で話し合いながら自己評価を行ったことで、課題や新たな気づきにつながり、取り組みの成果を実感できている。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を通して、サービスの見直しや振り返りに活用し改善していけるよう積極的に取り組んでいる。					
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	入居者状況や行事報告等を行い話し合いを行っている。入居者や民生委員、行政の方からもたくさんの意見を頂きサービスの向上に努めている。			行政担当者が開催に意欲的で、運営推進会議がよく機能しており、委員からの意見を基に継続課題だったスプリンクラーの設置を実現するなど、建設的な意見や提案を取り組みに反映させている。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者状況や行事報告等を行い話し合いを行っている。入居者や民生委員、行政の方からもたくさんの意見を頂きサービスの向上に努めている。					
6	9	○市町村との連携	行事等の企画時は参加して頂けるよう声を掛けている。また、必要に応じて電話や訪問をしても連絡が取れる体制をつくり、協力を得るようにしている。			介護保険事務所や地域包括支援センター、援護福祉課、保護課との関わりが多く、スプリンクラー設置に伴う助成金の確保など、よく連携しながら事業所運営やサービス提供に生かしている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行事等の企画時は参加して頂けるよう声を掛けている。また、必要に応じて電話や訪問をしても連絡が取れる体制をつくり、協力を得るようにしている。					
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用	研修を通して学ぶ場所が得られている。利用者さんの中でも権利擁護を使わせてもらっている方がいる。					
		管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修を通して学ぶ場所が得られている。利用者さんの中でも権利擁護を使わせてもらっている方がいる。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通して学び、またそれを他の職員へ勉強会を通して伝え学ぶ機会を持っており自ら考え意識できるようにしている。					
			研修を通して学び、またそれを他の職員へ勉強会を通して伝え学ぶ機会を持っており自ら考え意識できるようにしている。					
4. 理念を実践するための体制								
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にホームの概要、対応等を書面と口頭で十分に説明し理解と納得を頂くよう努めている。					
			契約時にホームの概要、対応等を書面と口頭で十分に説明し理解と納得を頂くよう努めている。					
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	率直な意見や不満等を伝えられる雰囲気作り、体制を整えており、話が聞こえた時は話し合う場を設け検討し改善に努めている。					
			率直な意見や不満等を伝えられる雰囲気作り、体制を整えており、話が聞こえた時は話し合う場を設け検討し改善に努めている。					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、請求書の発送時にホーム便りにて入居者個々の暮らしぶり等を報告している。また、状態の変化等があった際には、随時電話連絡をしている。			○ 毎月の請求書送付時に金銭管理の報告と行事を案内し、「たより」で利用者一人ひとりの生活の様子を詳しく報告している。 また、面会時の報告のほか、遠方の方には電話等でも直接報告している。	○ 事業所全体の状況や行事などを定期的に知らせるなど、地域や家族向けの広報の作成に取り組む、段階的に情報提供の充実に努めてほしい。	
			毎月、請求書の発送時にホーム便りにて入居者個々の暮らしぶり等を報告している。また、状態の変化等があった際には、随時電話連絡をしている。					
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事務所前にご意見箱を設置している。また、面会時には率直な意見が聞けるような雰囲気作りをしている。			○ 意見箱を設置し、家族には面会時などに意見や要望がないか確認しているほか、家族会に出席した方にも意向をうかがっている。	○ 家族会で意見を集約したり、独自に意向調査を実施して利用者及び家族の潜在的な思いがないか、手法を工夫しながら取り組むことを期待したい。	
			事務所前にご意見箱を設置している。また、面会時には率直な意見が聞けるような雰囲気作りをしている。					
	16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員は毎月のミーティング時に意見を出し合える機会があり、管理者に伝えている。また、管理者は月始めの本部の会議に出席し意見や提案ができる場がある。					
			職員は毎月のミーティング時に意見を出し合える機会があり、管理者に伝えている。また、管理者は月始めの本部の会議に出席し意見や提案ができる場がある。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	事前に調整が必要な場合は、話し合い職員の確保ができる体制をとっている。また、緊急時は連絡体制が整っているため調整を図り職員の確保ができています。						
		事前に調整が必要な場合は、話し合い職員の確保ができる体制をとっている。また、緊急時は連絡体制が整っているため調整を図り職員の確保ができています。						
9 18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職があった場合は不安を招かないよう配慮し説明をしている。			2ユニットの特性を生かし、ユニット間を互いに行き来しており、職員体制も充実しているため、異動時には新人職員が慣れるまで他職員が付き添うなど、利用者への精神的負担の軽減に努めている。			
		職員の異動や離職があった場合は不安を招かないよう配慮し説明をしている。						
5. 人材の育成と支援								
10 19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会には、研修の種別や年数等を考慮し、参加できる体制を整えている。			全体の研修計画を作成し、全職員が参加しやすいよう職員間で互いにフォローしながら体制を維持しているほか、資格取得を促しながら職員の資質向上を推進している。 また、法人内の薬剤師や協力医療機関の薬剤師などから指導を受け、内部研修に位置づけて研鑽している。	○	職員一人ひとりの研修実績や目標などを踏まえ、外部・内部を含めた研修計画を作成するなど、計画的かつ段階的に向上できる体制づくりを期待したい。	
		研修の機会には、研修の種別や年数等を考慮し、参加できる体制を整えている。						
11 20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	主にグループホーム連絡会を通して、会主催の研修等に参加し交流する機会を持っている。			東北ブロック、県、地域の連絡協議会と交流を持ち、管理者をはじめ職種毎の勉強会を通じて情報交換したり、ボーリング大会など親睦行事にも参加して交流を深めている。 また、地域内の他事業所と相互に訪問して見学するなど、地域全体の質の向上につなげている。			
		主にグループホーム連絡会を通して、会主催の研修等に参加し交流する機会を持っている。						
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社の親睦会を通して、旅行や忘年会を企画し参加できるようにしている。また、勤務表作成時は休みの希望を取り入れており、有休もできるだけとれる体制を作っている。						
		会社の親睦会を通して、旅行や忘年会を企画し参加できるようにしている。また、勤務表作成時は休みの希望を取り入れており、有休もできるだけとれる体制を作っている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の努力や実績を把握し、資格取得や研修参加への促しを行っている。各自が積極的に取り組み向上心を持って働いている。					
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の事前調査等で本人の相談や希望を聴く機会を持っており対応できるよう努めている。					
	24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居申込時に家族の相談や希望を聴く機会を持っており対応できるよう努めている。					
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の意向を聞き相談に応じて他のサービスの紹介等を行い対応できるよう努めている。					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	サービス利用前に本人、家族に見学をして頂き、職員や他の利用者との顔合わせ、ホームの雰囲気を感じて頂けるような工夫をしている。				家族と一緒に見学に訪れ、事業所の雰囲気や生活状況を体感したうえで利用の有無を決めており、職員も馴染みやすい関わり方を心がけている。	

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係	会話の中で、本人の昔の生活や経験等を教えてもらい行事や調理に活かしており、日々学び支え合っている。			畑作業や花壇づくり、料理、裁縫などを得意とする方から職員が生活の中で教わり、一緒に作業することで実践に生かしている。 また、月日を重ねることで利用者と職員との間に徐々に信頼関係が生まれ、支え合って生活している。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	会話の中で、本人の昔の生活や経験等を教えてもらい行事や調理に活かしており、日々学び支え合っている。					
	28	○本人を共に支えあう家族との関係	面会時に要望や希望を伺い一緒に考えるよう努めている。また、行事等の案内をし、本人と家族、職員が同じ時間を共有できるよう努めている。					
		職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に要望や希望を伺い一緒に考えるよう努めている。また、行事等の案内をし、本人と家族、職員が同じ時間を共有できるよう努めている。					
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援	本人や家族の話から双方の関係性を理解し対応に努めている。また、家族に本人の状態を伝えることでよい関係が継続できるよう支援している。					
		これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人や家族の話から双方の関係性を理解し対応に努めている。また、家族に本人の状態を伝えることでよい関係が継続できるよう支援している。					
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援	家族に相談しながら関係が途切れない支援に努めたい。	○	年数回、懇談会や交流会を開いているが参加の人数が半数はいかず、今後家族の要望等を聞きながら開催していきたい。			
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に相談しながら関係が途切れない支援に努めたい。	○	年数回、懇談会や交流会を開いているが参加の人数が半数はいかず、今後家族の要望等を聞きながら開催していきたい。			
	31	○利用者同士の関係の支援	相性の関係や利用者個々の状況を把握し、座席の工夫や環境を整えており、トラブルなく関わり合えるよう努めている。					
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	相性の関係や利用者個々の状況を把握し、座席の工夫や環境を整えており、トラブルなく関わり合えるよう努めている。					
	32	○関係を断ち切らない取り組み	必要な方とは、関係の継続に努めている。					
		サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要な方とは、関係の継続に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から希望や要望を聞き、意向の把握に努めており、随時相談を重ねている。			日常の会話を通じて利用者の希望を確認し、表情や言動などからも思いを感じ取り、家族の意向は電話や訪問時に確認しながら希望に沿うよう努めている。		
			本人や家族から希望や要望を聞き、意向の把握に努めており、随時相談を重ねている。					
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期の面談時に聞いた情報等を基に生活歴を把握している。また、本人との会話の中から新たな情報を得られるよう努めている。					
			初期の面談時に聞いた情報等を基に生活歴を把握している。また、本人との会話の中から新たな情報を得られるよう努めている。					
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身の様子や排泄の様子等を各用紙に記入しており、申し送りにて把握に努めている。					
			心身の様子や排泄の様子等を各用紙に記入しており、申し送りにて把握に努めている。					
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	会話を通して得た本人の思いや家族の意向を取り入れて計画を作成している。また、モニタリングについては、ケアカンファレンスを通して話し合い作成している。			利用者及び家族の意向を基にアセスメントし、全職員で検討しながら介護計画を作成している。また、ケアカンファレンスやモニタリングも全職員で行い、計画の理解や課題の共有に努めている。		
			会話を通して得た本人の思いや家族の意向を取り入れて計画を作成している。また、モニタリングについては、ケアカンファレンスを通して話し合い作成している。					
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行うと共に、状態に応じて見直しと変更を行っている。	○	モニタリング方法の工夫を考えていきたい。	目標に対する成果が一目でわかるようモニタリングの記入方法を改善し、3か月毎のほか、利用者の現状に即したタイミングで計画を見直している。	○	管理者は効率的なモニタリングの手法を前向きに考えているため、課題や目標を次回の計画に具体的に反映できるよう、様式を改善するなど職員間で検討しながら工夫してほしい。
			定期的な見直しを行うと共に、状態に応じて見直しと変更を行っている。	○	モニタリング方法の工夫を考えていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に1日の様子を記録し、申し送りノートにて全職員が情報を共有できるような体制をとっている。					
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列事業所との連携を図り相談、検討して支援している。				利用者の様々なニーズに応えるため、昨年度に認知症対応型デイサービスとショートステイの指定を受け体制を整えている。 また、月2回の通院介助など柔軟に対応しているほか、系列事業所の看護師や栄養士の協力体制もある。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
	40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通して意見交換を行っている。また、消防訓練、中学生の職場体験の受け入れ、ボランティアの受け入れ等、地域と協力し合っている。					
	41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	研修や会議に参加する機会に意見交換や情報収集を行っている。					
	42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の希望により権利擁護等を活用させて頂いている。	○	利用者、家族の意向や相談内容に応じてセンターを積極的に活用していきたい。			
			本人の希望により権利擁護等を活用させて頂いている。	○	利用者、家族の意向や相談内容に応じてセンターを積極的に活用していきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援	利用契約時にかかりつけ医について説明し理解を得て受診の体制を整えている。また、個々の状態に合わせて希望に沿った医療機関を受診している方もいる。			利用者の希望に沿ってかかりつけ医への受診を支援しているほか、協力医とは緊急時の対応や健康管理を含めた診療、相談など協力体制を整えている。 また、必要に応じて歯科医や薬剤師からの指示を仰ぐなど、協力を得ている。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用契約時にかかりつけ医について説明し理解を得て受診の体制を整えている。また、個々の状態に合わせて希望に沿った医療機関を受診している方もいる。					
44		○認知症の専門医等の受診支援	かかりつけ医に詳しい状態報告を行い必要に応じて専門医療機関への受診の対応を整えている。					
		専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医に詳しい状態報告を行い必要に応じて専門医療機関への受診の対応を整えている。					
45		○看護職との協働	受診時に相談することが多く、支援を得ている。					
		利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診時に相談することが多く、支援を得ている。					
46		○早期退院に向けた医療機関との協働	医療機関、家族と話をする機会を調整しながら状態の把握をし、早期に退院できるよう相談に努めている。					
		利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関、家族と話をする機会を調整しながら状態の把握をし、早期に退院できるよう相談に努めている。					
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有	契約時や家族への状況報告に、今後の状態変化に応じてのホーム側の対応や支援を説明はしているが繰り返しとまでは至っていない。重度化になった場合を想定し他施設申込みをしている利用者もいる。	○	かかりつけ医の意見や職員間の話し合い等を踏まえて、今後も相談や検討を行っていききたい。	系列事業所に看護師2名がおり、常に指導や相談する体制はできているが、現在の利用者の状況からはターミナルケアを必要としていない。	○	管理者はターミナルケアの必要性を認識しているため、医療機関との連携やマニュアル、同意書等の整備など、事業所としての方針と体制を明確にしてほしい。
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時や家族への状況報告に、今後の状態変化に応じてのホーム側の対応や支援を説明はしているが繰り返しとまでは至っていない。重度化になった場合を想定し他施設申込みをしている利用者もいる。	○	かかりつけ医の意見や職員間の話し合い等を踏まえて、今後も相談や検討を行っていききたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医への受診、状態報告で状況に応じてアドバイスは頂いているが、職員間で時間を作り検討するところまでには至っていない。	○	ミーティングやカンファレンス時に重度化に対しての支援、方針を検討する機会を設け取り組みにつなげていきたい。				
		かかりつけ医への受診、状態報告で状況に応じてアドバイスは頂いているが、職員間で時間を作り検討するところまでには至っていない。	○	ミーティングやカンファレンス時に重度化に対しての支援、方針を検討する機会を設け取り組みにつなげていきたい。				
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人及び家族と主に話し合いを重ね不安の軽減、解消に努めダメージを最小限にとどめるよう努めている。						
		本人及び家族と主に話し合いを重ね不安の軽減、解消に努めダメージを最小限にとどめるよう努めている。						
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
1. その人らしい暮らしの支援								
(1) 一人ひとりの尊重								
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの思いに寄り添い、場面に応じた言葉掛け、声のトーン、対応等に配慮している。また、記録等の個人情報を研修等で使用する際は家族の同意を得ている。			利用者の生活歴や性格などを理解し、それに合わせた丁寧な声かけとさり気ないケアを心がけている。 また、個人ファイルはキャビネットで施錠管理し、プライバシー保護についても同意を得ている。		
			利用者一人一人の思いに寄り添い、場面に応じた言葉掛け、声のトーン、対応等に配慮している。また、記録等の個人情報を研修等で使用する際は家族の同意を得ている。					
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	周囲の雰囲気作りに配慮し、本人なりの表現で思いを伝えたり自己決定ができるように声掛けや説明を行っている。						
		周囲の雰囲気作りに配慮し、本人なりの表現で思いを伝えたり自己決定ができるように声掛けや説明を行っている。						
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活ペースに合わせて過ごすことができるよう努めている。			献立や食事のペース、入浴時間など利用者の希望に沿い、急な外出や買い物にも付き添うなど利用者の生活リズムを尊重しながら支援するよう努めている。		
			本人の生活ペースに合わせて過ごすことができるよう努めている。また、意思の伝達が困難な方に対しては、表情や行動を見守りし希望の察知に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援								
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホーム内に理美容室が設置されており、毎週月曜日に理容師さんを依頼し、散髪や髪染め等ができるようにしている。						
		ホーム内に理美容室が設置されており、毎週月曜日に理容師さんを依頼し、散髪や髪染め等ができるようにしている。						
22 54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりに合わせて、食事前の準備、配膳、食後の後片付け等、分担しながら行っている。					利用者が職員とともに調理や後片付けを行い、一人ひとりの摂取可能量に合わせて使い慣れた食器などを使用し、無理なく食べられるよう配慮している。 また、畑で採れた野菜を使用したり、外食なども取り入れながら楽しめるよう工夫している。	
		利用者一人ひとりに合わせて、食事前の準備、配膳、食後の後片付け等、分担しながら行っている。						
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	体調等に配慮しながら、それぞれの好みの物を提供している。その他、個人用で購入し楽しんでいる方もいる。						
		体調等に配慮しながら、それぞれの好みの物を提供している。その他、個人用で購入し楽しんでいる方もいる。						
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた声掛けや誘導を行っている。声掛けから排泄後までプライバシーに十分配慮し介助を行っている。						
		排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた声掛けや誘導を行っている。声掛けから排泄後までプライバシーに十分配慮し介助を行っている。						
23 57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その日の健康状態を把握した上で希望に浴えるよう努めている。また、リラックスし楽しい時間になるよう雰囲気作りにも努めている。					10時から15時の間に入浴時間を設定しており、一人で入浴する方や、同性介助についても意思確認しながら入浴を支援している。 また、家族が週2回温泉に連れて行くケースもあり、お互いに協力しながら支援している。	
		その日の健康状態を把握した上で希望に浴えるよう努めている。また、リラックスし楽しい時間になるよう雰囲気作りにも努めている。						
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活ペースや状況に合わせて、ゆっくりと過ごして頂けるよう努めている。また、適度な疲労感を感じて頂けるよう軽運動を取り入れ、夜間の安眠につなげている。						
		一人ひとりの生活ペースや状況に合わせて、ゆっくりと過ごして頂けるよう努めている。また、適度な疲労感を感じて頂けるよう軽運動を取り入れ、夜間の安眠につなげている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	生活歴や現在の状況を把握し、洗濯物干し、台所仕事、畑での収穫作業、散歩等を声掛けし、一緒に行っている。			利用者の生活歴や体験を踏まえ、農作業に携ってきた方には畑の草取りや花壇の手入れをお願いしているほか、調理や洗濯物たたみ、日曜大工など利用者が自発的に手伝ってもらおうよう支援している。 また、ぬり絵や大型スーパーへの買い物などにも出かけ、メリハリのある生活になるよう努めている。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や現在の状況を把握し、洗濯物干し、台所仕事、畑での収穫作業、散歩等を声掛けし、一緒に行っている。					
60		○お金の所持や使うことの支援	入居後、家族の了解を得てホーム側での立て替え形式を原則としている。入居者で手持ちのお金を利用したい方に関しては、預かり金保管規定により預からせてもらうこともできるようになっている。					
		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居後、家族の了解を得てホーム側での立て替え形式を原則としている。入居者で手持ちのお金を利用したい方に関しては、預かり金保管規定により預からせてもらうこともできるようになっている。					
25	61	○日常的な外出支援	ホームの畑や周辺の散歩、ドライブ等、天気や体調を見てできるだけ希望に沿えるよう努めている。			季節に応じて花見やラベンダー、あやめまつりなどの行事に出かけているほか、近所のコンビニや大型ショッピングセンターへも定期的買い物に出かけて楽しんでいる。 また、利用者が自由に各ユニットから出て敷地内を散歩するなど、日常的に外気にふれている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの畑や周辺の散歩、ドライブ等、天気や体調を見てできるだけ希望に沿えるよう努めている。					
62		○普段行けない場所への外出支援	季節ごとに花の観賞や歌の鑑賞、大型スーパーへの買い物等へ出掛けている。定期的に家族と温泉に出掛けている方もいる。					
		一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに花の観賞や歌の鑑賞、大型スーパーへの買い物等へ出掛けている。定期的に家族と温泉に出掛けている方もいる。					
63		○電話や手紙の支援	家族と相談し、状況や時間を見て電話や手紙のやりとりをしている。					
		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と相談し、状況や時間を見て電話や手紙のやりとりをしている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時は居室でゆっくりと楽しい時間を過ごせるよう、環境や雰囲気作りに努めている。 面会時は居室でゆっくりと楽しい時間を過ごせるよう、環境や雰囲気作りに努めている。					
(4) 安心と安全を支える支援								
	65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が理解し意識したケアに取り組んでいる。 全職員が理解し意識したケアに取り組んでいる。					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	夜間以外は施錠せず、開放し見守りをしている。 夜間以外は施錠せず、開放し見守りをしている。				玄関以外の各ユニット出入り口をすべて開放しており、外出した場合にはセンサーで把握し、周囲の危険箇所なども確認して安全に配慮している。 また、近隣のコンビニを含め地域が協力的で、事業所を理解したうえで地域で利用者を見守りしている。	
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は職員が一緒に過ごしながら確認している。夜間は定期的な巡回にて様子等の確認を行っている。 日中は職員が一緒に過ごしながら確認している。夜間は定期的な巡回にて様子等の確認を行っている。					
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬、洗剤、刃物等置き場所が決まっており、施錠し管理している。 薬、洗剤、刃物等置き場所が決まっており、施錠し管理している。					
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態を把握し対応している。服薬については、食後に一人ひとりに手渡し、または介助にて行い誤薬防止に努めている。夜間、火の元安全確認も行っている。 一人ひとりの状態を把握し対応している。服薬については、食後に一人ひとりに手渡し、または介助にて行い誤薬防止に努めている。夜間、火の元安全確認も行っている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	定期的に救急救命講習を行っており、全ての職員が対応、実践できるよう備えている。					
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、日中、夜間を想定し、地域の方々の協力を得ながら避難訓練を行っている。また、火の元確認の自主点検も実施している。			地域住民とともに消防訓練を行い、緊急災害時にはコンビニが非常食を持参したり、近所に住む看護師が駆けつけてくれるなど協力体制を築いている。 また、スプリンクラーの設置など非常設備の整備にも努めている。		
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	現在の状態を家族に把握して頂き、今後ありえるリスクの説明、相談をした上で本人の生活を尊重している。					
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	チェック法や日誌、申し送りにて一人ひとりの状態を把握しており、変化があった際には協力医に相談、受診し早期対応に努めている。					
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明用紙にて薬の働き、注意事項、副作用を確認し、食事の際の禁止食等に配慮している。					
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事のメニューはたくさんの食材が摂れるように工夫している。便秘の方には薬だけに頼らず軽運動で予防に努められるよう促している。	○	排泄が自立している方については、便秘の訴えが聞かれる事があるが、排便の有無の確認をすることが難しく今後検討していきたい。			
			食事のメニューはたくさんの食材が摂れるように工夫している。便秘の方には薬だけに頼らず軽運動で予防に努められるよう促している。	○	排泄が自立している方については、便秘の訴えが聞かれる事があるが、排便の有無の確認をすることが難しく今後検討していきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、毎食後には歯磨きやうがいを促している。また、就寝前には義歯の洗浄消毒も行い清潔保持に努めている。						
		起床時、毎食後には歯磨きやうがいを促している。また、就寝前には義歯の洗浄消毒も行い清潔保持に努めている。						
28 77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理の際は、たくさんの食材を使うよう工夫しており、摂取量の確認を毎食後必ず行っている。夏場は脱水予防のため水分補給を徹底している。			利用者一人ひとりのバイタルチェック表に食事摂取状況を記録し、水分摂取量についても適切に支援している。 また、系列事業所の栄養士に献立をチェックしてもらい、栄養バランスが偏らないよう配慮している。			
		調理の際は、たくさんの食材を使うよう工夫しており、摂取量の確認を毎食後必ず行っている。夏場は脱水予防のため水分補給を徹底している。						
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対するマニュアルを作成しており、感染予防として正しい手洗いやうがい、ハイター消毒の徹底を実行している。						
		感染症に対するマニュアルを作成しており、感染予防として正しい手洗いやうがい、ハイター消毒の徹底を実行している。						
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生記録チェック表にて、消毒の管理を徹底している。また、食材に関しては賞味、消費期限を守り新鮮な食材を使用し提供している。						
		衛生記録チェック表にて、消毒の管理を徹底している。また、食材に関しては賞味、消費期限を守り新鮮な食材を使用し提供している。						
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1)居心地のよい環境づくり								
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前や中庭には花を飾り、明るく安心できる雰囲気作りに努めている。玄関前にはスロープを設置している。						
		玄関前や中庭には花を飾り、明るく安心できる雰囲気作りに努めている。玄関前にはスロープを設置している。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下には季節ごとの装飾や行事の写真を飾っている。台所は開放され調理の音や匂いが流れやすくなっている。また、天気や気温に応じてカーテンでの光の調節、またクーラーの使用を行っている。			玄関や食堂、トイレに芳香剤を置き、直射日光はカーテンで調節し、自動換気システムにより快適な空間づくりに努めている。 また、居間には鉢植えや絵画を飾り、ソファやテーブルなどを置いて自由に過ごせる環境を整えている。		
		一人ひとりの居室があり、自由に過ごす空間がある。ホールのソファや食堂でそれぞれが思い思いに過ごせるような居場所がある。						
30	83	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの居室があり、自由に過ごす空間がある。ホールのソファや食堂でそれぞれが思い思いに過ごせるような居場所がある。			居室にはタンスを備え付け、自宅からソファなどの家具を持ち込み、孫の絵や写真、手芸品などを自由に飾り個性ある空間づくりを支援している。 また、利用者の希望に応じて畳を敷くことも可能で、家族の宿泊にも応じれるよう配慮している。		
		一人ひとりの居室があり、自由に過ごす空間がある。ホールのソファや食堂でそれぞれが思い思いに過ごせるような居場所がある。						
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の好みの物で居室を飾ったり使い慣れた物を使用して頂いたり本人が安心して過ごせるよう配慮している。			居室にはタンスを備え付け、自宅からソファなどの家具を持ち込み、孫の絵や写真、手芸品などを自由に飾り個性ある空間づくりを支援している。 また、利用者の希望に応じて畳を敷くことも可能で、家族の宿泊にも応じれるよう配慮している。		
		利用者の好みの物で居室を飾ったり使い慣れた物を使用して頂いたり本人が安心して過ごせるよう配慮している。						
30	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日の中で天気や気温に合わせて適宜、換気や温度調節を行っている。			居室にはタンスを備え付け、自宅からソファなどの家具を持ち込み、孫の絵や写真、手芸品などを自由に飾り個性ある空間づくりを支援している。 また、利用者の希望に応じて畳を敷くことも可能で、家族の宿泊にも応じれるよう配慮している。		
		1日の中で天気や気温に合わせて適宜、換気や温度調節を行っている。						
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
30	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スロープや手すりの設置、段差の解消、引き戸の設置等バリアフリーの建物になっている。また、入浴時には転倒防止のため、滑り止めマットを使用している。			居室にはタンスを備え付け、自宅からソファなどの家具を持ち込み、孫の絵や写真、手芸品などを自由に飾り個性ある空間づくりを支援している。 また、利用者の希望に応じて畳を敷くことも可能で、家族の宿泊にも応じれるよう配慮している。		
		スロープや手すりの設置、段差の解消、引き戸の設置等バリアフリーの建物になっている。また、入浴時には転倒防止のため、滑り止めマットを使用している。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状態を把握し、自立した生活ができるように見極め、できない所を支援している。また、混乱等しないよう職員が目の届く範囲で見守りに努めている。						
		一人ひとりの状態を把握し、自立した生活ができるように見極め、できない所を支援している。また、混乱等しないよう職員が目の届く範囲で見守りに努めている。						
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭にはベランダがあり、花を観て楽しめるようにしている。また、ホームの裏には畑があり、作業や収穫が楽しめるように工夫している。						
		中庭にはベランダがあり、花を観て楽しめるようにしている。また、ホームの裏には畑があり、作業や収穫が楽しめるように工夫している。						

※ は、重点項目。

項目		自己評価		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) ①：1ユニット（西棟） ②：2ユニット（東棟）
		①	②	
V. サービスの成果に関する項目				
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホーム周辺は田畑に囲まれコンビニや乗馬場や温泉があり、散歩等をしながら季節感を感じ健康維持に努めている。中庭や裏の畑で花や野菜を作り、入居者の皆さんと一緒に喜んでいる。地域に根ざすホームになるよう、年に2回招待し収穫祭や食事会を行っている。また、地域の方の協力を得ながら避難訓練等を行わせて頂いている。

ホーム周辺は田畑に囲まれコンビニや乗馬場や温泉があり、散歩等をしながら季節感を感じ健康維持に努めている。中庭や裏の畑で花や野菜を作り、入居者の皆さんと一緒に喜んでいる。地域に根ざすホームになるよう、年に2回招待し収穫祭や食事会を行っている。また、地域の方の協力を得ながら避難訓練等を行わせて頂いている。